

令和4年度決算の概況【水道事業会計】

1 業務実績等

- ①有収水量は、商業用については増加したものの、工場用、家庭用、公用・学校用で減少し、全体としては前年比0.9%の減少となりました。
 ②給水戸数は、家庭用が増加したことなどにより増加しました。
 ③給水人口は、横ばいです。

	R4 A	R3 B	増減(A-B) 比率(A/B)	備 考
配水量(千m ³)	39,305	39,558	△ 253 99.4%	
一日平均(千m ³)	108	108	0 99.4%	
① 有収水量(千m ³)	37,801	38,149	△ 348 99.1%	
一日平均(千m ³)	104	105	△ 1 99.1%	
② 給水戸数(千戸)	161	160	1 101.0%	
③ 給水人口(千人)	343	343	0 100.0%	
@供給単価(円/m ³) (給水収益/給水量)	157.5	157.1	0.4 100.3%	
@給水原価(円/m ³) ([@維持管理費+@資本費]/給水量)	140.2	130.3	9.9 107.6%	
うち@維持管理費(円/m ³) (維持管理費/給水量)	76.9	70.3	6.6 109.4%	
うち@資本費(円/m ³) ([減価償却費等+利息-長前]/給水量)	63.3	60.0	3.3 105.5%	

令和4年度に実施した主な事業

- ・柳が崎浄水場整備改良工事(H30~R4 総事業費:3,896百万円 R4事業費:1,048百万円)
- ・老朽鑄鉄管(基幹管路)布設替事業(真野低区系配水管ほか)(R4 事業費:248百万円)
- ・老朽鑄鉄管及び鉛給水管布設替事業(大平一丁目ほか)(R4事業費:535百万円)
- ・未るみる(パソコンやスマートフォンにおける水道、下水道、ガス料金等確認システム)導入

令和4年度決算の概況【水道事業会計】

2 比較損益計算書

減収減益

- ①給水収益は減少した一方、資産減耗費、維持管理費など営業費用が増加したことから、営業利益(本業の黒字)は減少しました。
- ②支払利息は減少し、長期前受金戻入が増加しましたが、営業利益減少の影響が大きく、経常利益は減少しました。
- ③本年度は、給水収益が減少し、資産減耗費など営業費用が増加したこと等から、前年度より440百万円少ない981百万円の純利益となりました。

	R4 A	R3 B	増減額 A-B	備 考
営業収益	6,026	6,071	△ 45	
給水収益	5,954	5,992	△ 38	有収水量△0.9% 供給単価+0.4円/m ³
受託工事収益	16	22	△ 6	
その他	56	57	△ 1	
営業費用	5,802	5,394	408	
維持管理費	2,746	2,607	139	電気代高騰による動力費の増(+85)
減価償却費	2,662	2,653	9	
資産減耗費	377	114	263	固定資産除却費(柳が崎浄水場等)の増
受託工事費用	17	20	△ 3	
① 営業利益(損失は△)	224	677	△ 453	
営業外収益	1,068	1,080	△ 12	
加入金	213	260	△ 47	
他会計負担金	18	19	△ 1	児童手当・企業債利息繰入金
長期前受金戻入	744	687	57	
雑収益など	93	114	△ 21	水道メーター取外による収益の減(△13)
営業外費用	304	336	△ 32	
支払利息	258	284	△ 26	企業債残高減少に伴う減
雑支出	46	52	△ 6	不用品売却原価の減(△6)
② 経常利益(損失は△)	988	1,421	△ 433	
特別利益	0	0	0	
特別損失	7	0	7	固定資産売却損
③ 当年度純利益(損失は△)	981	1,421	△ 440	
前年度繰越利益金 (その他未処分利益剰余金変動額)	0	0	0	
当年度未処分利益(未処理欠損は△)	981	1,421	△ 440	

令和4年度決算の概況【水道事業会計】

[単位: 百万円]

3 比較貸借対照表

①自己資本比率は、負債が減少したことに伴い、1.5pt改善し、56.2%となりました。
 ②流動比率は、現金預金(流動資産)の減少により、22.6pt減少し、184.7%となりました。
 ③事業収益対企業債残高比率は、企業債の償還が進み残高が減少したことから、5.1pt改善し、255.2%となりました。

	R4 A	R3 B	増減額 A-B	備 考
資産の部				
固定資産	62,765	62,029	736	
有形固定資産	62,528	61,943	585	
帳簿価額	123,957	119,491	4,466	構築物+4,351 機械装置+121 車両運搬具+16 工具器具備品△11 ほか
償却累計	△ 62,606	△ 60,693	△ 1,913	
建設仮勘定	1,177	3,145	△ 1,968	浄水管理施設工事費 △718 改良工事費 △1,368 ほか
無形固定資産	231	80	151	ソフトウェア+154 ほか
投資その他の資産	6	6	0	
流動資産	5,268	5,901	△ 633	
現金預金	4,379	5,169	△ 790	
未収金(正味残高)	855	700	155	
未収金	863	709	154	消費税還付金+118
貸倒引当金	△ 8	△ 9	1	
貯蔵品等	34	32	2	
資産合計額	68,033	67,930	103	
負債の部				
固定負債	14,803	15,252	△ 449	
企業債	14,116	14,523	△ 407	借入: 859.3
引当金	687	729	△ 42	退職給付引当金の減
流動負債	2,852	2,847	5	
企業債	1,266	1,273	△ 7	
未払金・未払費用	1,412	1,384	28	期末未払(未払修繕費: 127、未払物件費: 457、未 払工事費: 588)ほか
前受金	82	102	△ 20	
引当金	57	53	4	
その他	35	35	0	
繰延収益	12,149	12,651	△ 502	
長期前受金	31,864	31,915	△ 51	
収益化累計	△ 19,715	△ 19,264	△ 451	
負債合計額	29,804	30,750	△ 946	
資本の部				
資本金	36,228	34,740	1,488	
資本金	36,228	34,740	1,488	前年度利益処分687 繰越利益剰余金734 出資金67
剰余金	2,001	2,440	△ 439	
資本剰余金	811	811	0	
利益剰余金	1,190	1,629	△ 439	
積立金	209	208	1	
当年度未処分利益	981	1,421	△ 440	
資本合計額	38,229	37,180	1,049	
負債・資本合計額	68,033	67,930	103	

企業債残高
 R04 154億円
 R03 158億円

	指 標	R4	R3	増減	指標の説明
①	自己資本比率	56.2%	54.7%	1.5%	総資本のうち自己資本の占める割合を示し、比率は高いほど経営の安定性は大きい。
②	流動比率	184.7%	207.3%	-22.6%	短期の支払い能力を示す指標。比率は100%以上が望ましい。
③	事業収益対企業債残高比率	255.2%	260.3%	-5.1%	借金が収入の規模に見合っているのかを図る指標。過度に高い場合は将来世代の負担が高まっている可能性があります。

令和4年度決算の概況【水道事業会計】

[単位:百万円]

4 剰余金の処分

- ①繰延収益相当額を自己資本金に組み入れます。
 ②減債積立金に積立てます。

	当年度末未処分利益剰余金	981
	利益剰余金処分額	
	① 条例第4条の5による処分額	△ 981
	自己資本金組入(繰延収益相当額)	△ 744
	② 減債積立金の積立	△ 237
	処分後残高(繰越利益剰余金)	0

5 キャッシュ・フロー計算書

☆業務C/F(3,081百万円)から、投資C/F(3,525百万円)を差し引いた金額がマイナス(△444百万円)となっており、本業で投資を賄っていない状態です。
 資金については、期首より期末が減少しており、今後の経営状態に注意を要する状況です。

	R4 A	R3 B	増減額 A-B	備考
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	3,081	3,190	△ 109	
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,525	△ 2,282	△ 1,243	
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 346	△ 784	438	
資金増加額(又は減少額)	△ 790	124	△ 914	
資金期首残高	5,169	5,045	124	
資金期末残高	4,379	5,169	△ 790	

【総括】

経営成績については、電力費の高騰や固定資産除却費などの経費の増加がありましたが、水道事業全体では当年度純利益を計上することができました。しかし、家庭用の有収水量が減少し、前年度に比べて給水収益も減少しています。また、給水戸数については増加しているものの、年々、一戸あたりの有収水量は減少しており、今後における水需要の増加は期待できません。一方で、中長期経営計画(経営戦略)においては、今後、浄水場など大規模な施設整備や更新等による費用の増加が見込まれ、厳しい経営状況が予測されます。

このような中であっても、次世代に健全な施設を引き継ぎ、お客様に継続して安全・安心な水道水をお届けするために、より一層効率的な事業推進に取り組みつつ、持続可能な事業運営を実施してまいります。